

別記

入ト情報 第一七 踊

十月九日午後八時

多誠本部書記

決死隊再編案二日と迎へ我々の機嫌せる半争力に恐れと有りて又敢陽級と具う手先共は全中、テマを伴
以て我々の陣営の増強に努めてゐる。我々の陣営は電カ二十部を除外せしむる。徹初めもしない。

否對手として勝利を得るまで再敗するの期と續け人等、決意は固い。

勇戦する半争力、我々の勝利は、
二 制復下絶対反対。 山下を即時叩き出せ。

此の要求も貫徹する、とは決死隊が不承不察の動以外にはない。首謀部は九月午後一時に期して電

氣局に全多手編團員一万二千を總動員し我々の要求を以て要求の貫徹を期する事とす。

大衆初員に對す。一切の困難障礙を押し退け、我々として激進曲して全員既を編んで電氣局に

押しこむ。

△テマに迷ひを。對面は、有と車と文の堅固購るとして千五百名を召集し、此の東支の敗色濃

厚むとの珍人の全紙面を費し、不利と競争してゐる。我々の記事は總て、電氣局の放棄され

る。テマ。換説部工部の情報等あり、而して、我々の部は一人の裏切りもなきに不測、春の南に在る

少手裏切もあると競争され、あるが、事実は、人もない。我々自初車に別取部留の首領員

目につくか。之は日本文の二百余名の裏切り有外に、又証書員と支給し、あるは各服をスヤヤ

に看せて如何にも証書員のスヤヤ、我々の物に見せしめ、あるは。

デマに絶対に乗つてはならぬ。人の初換は、全作、敗北の元を、一人、全部、獨鉄を移し

固くする事、勝利の絶れ各件は。

首謀部を信頼して指令に依つて、動せよ。

△山下千太郎、居りて、我々の部は、電カ部、春の南、我々の部は決死隊として裏切りに、我々を

てゐる。日文に参考加す、と、事、テマ。

△新編隊の官舎の陣正に在る、全紙に世朝、市民に對す、詳解、スヤヤ、官舎に對す、我々

なる半争を、續け、ある。